

令和元 11 月 26 日

瀬戸内市議会議長 日下 敏久 様

瀬戸内市議会議員

竹原 幹

日下 俊子

島津 幸枝

厚東 晃央

岡 國太郎

政務活動費視察等報告書

政務活動費を使用して、次のとおり調査研究活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	令和元年 11 月 21 日 ～ 令和元年 11 月 22 日
訪問先	福井県小浜市及び若狭町かみなか農楽舎
調査事項	地域協働のまちづくり (小浜市) 地域協働型むらづくり事業について (田村のゆめづくり協議会) 農業政策について (若狭町、かみなか農楽舎)
調査概要	一日目は小浜市中名田地区の田村公民館において、「公民館を拠点とした地域協働のまちづくり」について、市の市民協働課担当者、公民館長、田村の夢づくり協議会会長らから、「地域まちづくり協議会」の立ち上げからその活動推進状況についてのヒアリングを行った。 二日目は若狭町にある「かみなか農楽舎」において市の観光未来創造課及び農林水産課担当者から「かみなか農楽舎」が実施している就農定住研修事業の概要ならびにその成果等についてのヒアリングを行なった。



所 感

小浜市は、平成 13 年度から市内 12 地区（旧小学校単位）に「まちづくり委員会」を設立し「地区振興計画」を 3 年かけて策定し、平成 27 年度に中名田地区他 5 地区がモデル地区として「地区まちづくり協議会」を設置し、平成 30 年度に 12 地区すべての地区の協議会が設立され今日に至っている。各地区とも公民館を拠点とし、事務は公民館スタッフが担っている。また公民館の「コミュニティーセンター化」の動きや協議会の成功の基本は組織とともに有為な人材が鍵となる点等、今後のわが市のまちづくり施策を考慮する上で大きな参考になった。また「協働のまちづくり」を考えるうえで、「協働は目的でなく手段」とのコンセプトが明確化されている点も参考になった。

若狭町では農業公園として整備した施設を「農業生産法人有限会社かみなか農楽舎」へと改組し、就農研修（通常は二年間）を含む諸事業を通じ、地域の耕作放棄地の整備、地域の農業後継者の育成へとつなげただけでなく、研修修了者のうち 24 名が若狭町に定住し研修修了者同士や地域の農家の女性との結婚により、人口が 70 余名増えたとの報告は、今後のわが市の耕作放棄地、就農後継者育成、定住人口増の課題解決の大いなる刺激と参考とすることができた。

また、この度の調査地はいずれも市役所、町役場でなく各活動団体の活動現場で行われたので、活動の実情並びに関係者の経験談を直に見聞でき、身につく研修とすることが出来たと実感している。